

あらかわ 区議会だより

No. 280
令和5年11月19日
(2023年)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

荒川区議会は持続可能な開発目標
(SDGs) を支援しています。



荒川区議会HP

令和5年度定例会・9月会議号



「あらかわ区議会だより」表紙写真応募作品

「晴天なり」 撮影者：劉聖姫さん(西尾久) 撮影場所：西尾久

おもな内容

- 2ページ 議会活動
9月会議の概要
趣旨採択された陳情
意見書提出
- 3ページ 区政のここをきく
- 10ページ 子ども議会が開催

- 11ページ 委員会活動の報告
- 14ページ 令和4年度決算審査
監査委員報告
- 15ページ 令和4年度決算の概要
主な総括質疑
会派名称の変更

- 16ページ 決算に対する討論
- 18ページ 附帯決議について
- 19ページ 議案の審議結果
- 20ページ 視察受入報告
福島市長表敬訪問

議会活動

令和5年7月8日～令和5年10月11日



7月10日

○財政援助団体調査特別委員会

7月10～11日

○観光・文化推進調査特別委員会
(行政視察)

7月12日

○若者支援・健全育成調査特別委員会
(区内視察)

7月13日

○震災・災害対策調査特別委員会

7月19日

○総務企画委員会

○福祉・区民生活委員会(区内視察)

7月20日

○文教・子育て支援委員会

○建設環境委員会 (区内視察)

7月25～26日

○福祉・区民生活委員会

(区外所管施設調査及び行政視察)

7月28日

○若者支援・健全育成調査特別委員会
(区外視察)

8月1～2日

○文教・子育て支援委員会
(区外所管施設調査及び表敬訪問)

8月3～4日

○議会運営委員会 (行政視察)

8月30日

○議会運営委員会

○若者支援・健全育成調査特別委員会

8月31日

○総務企画委員会

○福祉・区民生活委員会

9月1日

○文教・子育て支援委員会

○建設環境委員会

9月11日

○議会運営委員会

○震災・災害対策調査特別委員会

9月12日

○本会議

9月13日

○本会議

9月19日

○総務企画委員会

○福祉・区民生活委員会

9月20日

○文教・子育て支援委員会

○建設環境委員会

9月22・25・27～29日

○決算に関する特別委員会

10月3～4日

○決算に関する特別委員会

10月10日

○議会運営委員会

10月11日

○本会議

※太字は9月会議の会議期間

9月会議の概要

～令和4年度一般会計決算ほか3特別会計決算を認定～

令和5年度荒川区議会定例会・9月会議は、9月12日から10月11日までの30日間の会議期間で開かれました。

9月会議の1日目と2日目にかけて、11人の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました。(要旨は3～10ページに掲載しています)

10月11日には本会議を再開し、議案の議決を行いました。9月会議では、議員から3件、区長から28件の議案が提出され、このうち令和4年度決算4件は、決算に関する特別委員会を設置して審査を行いました。

議案第26号及び第27号の保育園の指定管理者の指定については、議員提出議案による附帯決議が付されました。

(議案の審議結果は19ページに掲載しています)



◀9月会議での区長挨拶の様子

趣旨採択された陳情

趣旨採択 ・令和5年度第2号陳情

「消費税インボイス制度の実施延期・見直しを求める意見書」を政府に送付することを求める陳情

意見書提出

9月会議では1件の意見書を提出しました。

国の負担で学校給食の無償化を求める意見書

(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣あて)

区政のここをきく

9月12日、13日の本会議にて、一般質問が行われました

一般質問要旨



健康増進と難病患者の生活をサポートするための取り組みについて
夏目 亜季
(自民党・次世代)



健康増進への取り組みについて

問 区が平成28年度に策定した健康増進計画は、今年度が最終年度であるが、評価はどうなっているか。新たな計画の策定にあたり、健康に無関心な方を巻き込むことや性別や年齢の違い、また、生活の変化等を考慮する必要があるが、どのように計画を策定されるのか、区の見解を問う。

答 現計画で一定の成果が得られたものもある一方、生活習慣病やがん対策については引き続き重点的に推進する必要があると考える。これらも踏まえながら、ライフステージに応じた視点や無関心層へのアプローチを加え、生涯を通じた健康づくりに取り組めるよう、計画を策定していく。

▶ 荒川区健康増進計画
(表紙)



※詳細は区ホームページから
(二次元バーコード)

問 がん患者のウィッグや胸部補整具の購入費用の助成に関し、検討状況を問う。また、がん患者への支援について区ホームページでの情報提供の他、具体的な取り組みはあるか。区はどのようにがん患者支援策を進めていくのか、見解を問う。

答 アピアランスケアの実施に向け、他区の状況も確認しつつ、具体的な準備を進めていく。がん患者への支援としては、看護師による相談対応等を行っている。支援団体に関する情報提供や患者の家族に対する同様の支援等が重要と考え、引き続き支援の検討に取り組んでいく。

問 区は、がん検診に胃がんリスク検査であるABC検診を実施しているが、本検診は効果的な対策型検診としては推奨されていない。エビデンスに基づきながら、効果が期待できるがん検診を検討すべきと考える。地域の健康への取り組みと財政効率の両面を考えた上での区の見解を問う。

答 胃がんリスク検査は、がん検診受診の意識醸成のために実施しているが様々なご意見を頂いているところである。今後も幅広く意見を伺いながら、エビデンスに基づくより効果の高いがん検診の在り方について検討していく。

問 高齢化が進む現代社会において、骨粗しょう症のリスクの早期発見と適切なケアの推進が高齢者の健康維持において重要である。骨粗しょう症のリスクは若年層にも存在しており、広く区民が骨粗しょう症検診を受けられる体制を整備することも視野に入れ、他自治体を参考に骨粗しょう症検診の実施に向けて、区の見解を問う。

答 区では超音波による骨密度検診を実施していたが、コロナ禍になり休止しており、現在は適切な検診に向けた検討を行うとともに、骨粗しょう症予防の普及啓発に力を入れている。検診の実施に向けて、関係機関との協議をさらに進めるとともに、普及啓発をより一層進めつつ、検診体制が整い次第、骨粗しょう症検診を実施していく。

問 HPVワクチンのキャッチアップ接種を公費で受けられる期間は令和7年3月までとなっており、普及啓発を早急に進める必要がある。子どもや保護者に接種の重要性をしっかりと理解してもらえよう取り組むべきと考えるが、区の見解を問う。

答 今後、医師からのメッセージ動画配信の他、学校・学園祭での広報、保護者向けパンフレットの配布、小中学校でのポスター掲示やがん予防出前講座等により周知を図り、子宮頸がんがワクチンで予防可能であることを伝える工夫を重ねていく。

難病患者の生活をサポートするための取り組み

問 現状、福祉タクシーは指定難病の方にまで支

援が拡充されていないが、難病患者についても、障がい者福祉タクシーと同等の年間限度額で、まずは通院の際に使用できるようにすべきである。過去に提案した難病患者の移動支援のためのタクシー利用助成について、具体の検討状況を問う。

答 区では、他自治体の事例について調査研究を行う等、支援の在り方について検討を行ってきた。国においても難病患者等に対する適切な医療や療養生活支援の拡充が取り上げられている。これらの状況を踏まえ、難病患者の方への移動支援の実施に向け、さらに検討を進めていく。

その他の質問項目

- コロナ禍の経験を活かした区政運営について
- 若者支援について

問 マンション内設備の損傷状況確認方法等の情報提供を含めたマンション防災を支援すること。

答 「マンション防災マニュアル」の作成支援を行っており、今後、不具合の確認作業方法を含め、トイレの使用ルールを記載するよう働きかけていく。

問 災害時用のトイレについて、区が掲げている「75人に1基」の状況を区内全域で整備すること。


答 トイレの整備については概ね達成しているが、引き続き整備を進め必要な数量を確保していく。

▶荒川区災害時
トイレマニュアル






※詳細は区ホームページから
(二次元バーコード)



**新型コロナウイルス感染症対策の
検証と震災時のトイレについて**

清水 啓史
(ゆいの会(都民ファースト・
国民民主・あたらしい党・無所属))



新型コロナウイルス感染症対策の検証について

問 区は感染症対応時、記録を作成・保存し、公表するとしている。この間の対応から得たことを検証し、今後の区民サービス向上、職員体制の改善に着手する必要があると考えるが区の見解を問う。

答 これまでの経過の記録の公表及び行動計画等の策定・公表を検討している。引き続き感染防止対策に万全を期すとともに、コロナ禍での経験を最大限に活かした区民サービス向上等に取り組む。

大規模災害時のトイレについて

問 災害時には、異常のないことが確認できるまではトイレの使用を控えることを広報すること。


答 ホームページに掲載しているが、より一層災害時トイレマニュアルの周知啓発を強化していく。

問 発災時のトイレ使用制限及び制限解除のアナウンスや公衆トイレ等の対応方法を検討すること。

答 ライフライン情報をホームページや防災アプリ等で逐次発信していく。公衆・公園トイレの使用については、職員が一時使用中止の掲示を行う。


その他の質問項目

- 教員の多忙化解消について
- 睡眠の重要性について



**防災・減災と人命救助対策
について**

松田 智子
(公明党)



防災・減災対策について

問 関東大震災から100年を迎え、今後の区としての基本的な防災対策の考え方と決意を問う。

答 災害時には、自助、共助、公助の適切な連携が重要であり、様々な周知啓発に取り組んでいる。防災・減災対策をより一層充実・強化していく。

問 長期にわたる避難所生活を少しでも快適にするため「エアーマット」を一次避難所の学校等の備蓄品に加えるべきと考えるが、区の見解を問う。

答 避難所における生活環境の向上に向けて、「エアーマット」の備蓄についても検討を進める。

問 在宅避難者へ支援物資を迅速かつ円滑に輸送するため、フードデリバリー事業所と災害時協定を締結することを提案するが、区の見解を問う。

答 フードデリバリー事業所との連携については、今後、具体的かつ効果的な支援の可能性について、事業所と協議を進めていく。

人命救助対策について

問 公共施設への人工呼吸器具「バッグバルブマスク」の設置・利用促進について、見解を問う。

答 「バッグバルブマスク」は、専門技術を要し、一般の区民等の使用には課題もあるため、引き続き、効果的な救命対策等について検討する。

問 災害医療運営連絡会等に参加している関係団体に対し、AEDの設置を支援するよう要望するとともに、講習会の充実も要望するが、見解を問う。

答 引き続きAEDの設置拡大に努めるとともに、講習会等の取り組みを積極的に行っていく。



区役所内のAED

その他の質問項目

○「認知症基本法」成立における区の取り組みについて



学童クラブの運営委託等
公共サービスの在り方と
地域公共交通について
横山 幸次
(共産党)



学童クラブの運営委託等公共サービスの在り方について

問 学童クラブ不正受給問題について、区の責任を明らかにし、全学童クラブの総点検、指導監査を実施し、その結果を公表するよう求める。

答 現在、全学童クラブを区職員が巡回し、職員の配置状況等を点検している。今後も定期的な巡回等を行い、学童クラブの適正な運営に努めていく。

問 公設公営の学童クラブ事業の全廃方針を改め、

引き続き学童保育に精通し、経験も有する職員を将来にわたり確保することを求める。

答 学童クラブを委託化することで、充実した事業を展開してきた。区として事業者をしっかりと指導・監督できるよう、経験やノウハウを活かしていく。



学童クラブの適正な運営を

コミュニティバスを中心にした地域公共交通

問 多様な移動手段の確保は重要であり、区民の意見、実態調査も踏まえて「区内地域公共交通の在り方」を検討、具体化することを求める。

答 令和5年7月に実証運行を開始したデマンド交通の取り組みは、今後の公共交通の在り方の検討にも資するため、利用促進に全力を注いでいく。

問 コミュニティバス「町屋さくら」の復活を含め、地域公共交通の軸となるコミュニティバスの運行経費補てんの在り方の検討を求める。

答 区が運行経費を補てんする場合、都のシルバーパスが利用不可となり、区の負担も試算額を大幅に超えるため、自主運行継続の方針に変更はない。

その他の質問項目

- 第9期高齢者プラン策定・高齢者福祉について
- 財政調整基金の適正規模を上回った分を住民福祉の増進等に振り向けること



若年層支援と花と緑の溢れるまち荒川への取り組みについて
久家 しげる
(立憲民主党)



若年層支援への現状と今後の方向性について

問 若者相談事業「わっか」について、周知方法のさらなる工夫が必要と考えるが、これまでの相談実績や成果を問う。また、コロナ禍で学業や地域

活動等の様々な活動が制限された若い方々に対する支援の一環として、愛知県新城市の「若者議会」のような、若年層にスポットを当てた住民参加型の会議体の設置を提案するが、区の見解を問う。

答 「わか」では令和5年4～8月に146件の相談を受け付け、若者本人の不安や保護者の心配事など、様々な相談に対応している。10～20代からの相談が多く、今後は商業施設におけるPR等を進め、関係各所と連携して若者の社会的自立を後押しする。「若者議会」については、所定の参加者確保に課題もあるため、まずは若者に区政や地域を身近に感じてもらえるよう取り組んでいく。

花と緑の溢れるまち荒川への取り組みについて

問 荒川区は23区の中でも、相対的に緑が少ない現状である。「花と緑の基本計画」を策定し緑化推進を図る中、これまでの取り組みと新たな事業や助成の実施等について、区の見解を問う。また、宮前公園等の大規模公園の植栽を充実させ、観光スポットとなるよう整備することを要望する。

答 区では「花と緑を通して幸せを実感できるまち」の実現に向け、「あらかわバラの市」の開催等、様々な施策を展開してきた。今後も魅力ある施策を実施するとともに、大規模公園の整備の際には、観光振興にも資する緑化イベントの開催等についても勘案し、特色ある公園づくりを進めていく。



◀花と緑が四季を通じて楽しめる宮前公園

その他の質問項目

○アフターコロナの新しい観光施策について



部活動の地域移行・外部委託と制服のサブスクについて

山田 晴美
(維新・子育ての会)



部活動の地域移行・外部委託について

問 教員不足が深刻化するなか、文部科学省は公立中学校での休日の部活動の地域移行を提唱している。部活動の地域移行や外部委託についてデメリットもあるが、教員の負担軽減、何より、成長期である子どもたちの心と身体のためにも、早急に取り組むよう要望するが、区の見解を問う。

答 部活動運営を地域団体等と連携して取り組むことにより教員の負担が軽減され、生徒と向き合うための時間がより多く確保でき、教育活動の充実にも寄与すると考える。各校における部活動の実態把握に努めるとともに、他自治体における先進事例について調査研究し、生徒の自主的で多様な学びの場である部活動の維持発展に努めていく。

制服のサブスクについて

問 原材料費や輸送費の高騰は止まらず、制服は今後も値上がりしていくと推測できる。制服を定額で貸し出すサブスク(※)を開始している自治体もあり、保護者の経済的負担軽減や成長期の子どもが制服を交換できることから、区でもサブスクを導入するよう要望するが、見解を問う。

答 現在、中学校全校において、制服のリユースの取り組みを行っている。サブスクの導入にあたっては、ご協力いただける制服販売店等の有無も含めて検討が必要である。区としては、生徒や保護者のニーズとともに他自治体の状況も含めて、今後の制服のサブスクの可能性について探っていく。



◀区立中学校の制服(第三中学校)

その他の質問項目

○子ども達の近視予防について

※サブスク…サブスクリプション(定額制で利用するサービス)のこと。



町屋地域における街づくりと子育て支援について

西川 浩平
(自民党・次世代)



町屋地域における街づくりと今後の見通し

問 町屋における主要幹線道路の一端を担っている旭電化通り（補助第193号線）の整備について、区では地域交通の円滑化等のため、道路の拡幅や無電柱化等を進めているが、事業の進捗状況と今後の見通し、周知について区の見解を問う。

答 現状の道路から南側に4メートル拡幅し、安全に通行できる環境を整えることとしており、現在、拡幅部分の用地取得率は約30パーセントとなっている。対象地区での看板設置等、積極的な周知を図りながら、早期の事業完了を目指していく。

問 町屋公園の大規模整備について、今後の見通し、周知を含め、現在の状況を問う。隅田川沿いの尾竹橋からあらかわ遊園にかけて整備されたテラスは尾久橋部分で分断されているが、橋を架けるなどして往来ができれば、さらに多くの区民が水に親しむ機会が得られるのではないかと。区として、都に強く要望すべきと考えるが、見解を問う。

答 現在、民有地部分の用地取得を進めており、看板設置やチラシ等による事業周知に努めるとともに、地域の意見を聞きながら、積極的に整備に取り組んでいく。また、尾久橋通り付近のテラスについては、橋の下に雨水の放水路があるため分断されているが、将来的には連絡橋を設ける考えがあると都から聞いている。都に対し、沿岸の整備について、引き続き強く要望していく。



尾久橋通り付近で分断されたテラス

問 町屋地域における不燃化特区事業は令和7年度までの予定となっているが、災害時の危険度が高

い現状を鑑みると、令和8年度以降も事業の延伸をすべきと考えるが、区の見解を問う。

答 道路拡幅整備や防災スポットの新設等により、状況は改善されてきた。今後、不燃化特区の期間延伸を都に要請していくとともに、制度の周知啓発に努め、災害に強い街づくりを推進していく。

問 防災に強い街づくりの観点から、地域住民の避難路及び緊急車両の円滑な通行を確保するために道路の拡幅は重要である。電線を共同溝に埋設し、無電柱化を進めることが有効な策と考える。町屋地域の無電柱化に向けた取り組みについて、現状と今後の見通しを問う。

答 町屋地域においては、補助第193号線は無電柱化優先整備路線として定めている。町屋2・3・4丁目地区の主要生活道路4路線についても、無電柱化推進路線としており、現在、道路拡幅のための用地取得を進めながら、事業の進捗にあわせて無電柱化整備に取り組んでいく。

子育て支援について

問 不登校問題の解決には、子どもの些細な心の変化やSOSを見逃さず、早期に相談や支援に繋げる体制が必要である。子どもから直接相談できるアプリの導入等、他自治体の取り組みを参考に問題の解決を図るべきと考えるが、区の見解を問う。

答 アプリを活用した教育相談については、子どもたちにとって、相談しやすい環境づくりに資するものと期待される。各自自治体の取り組みを参考にしながら、一人ひとりの状況に応じたきめ細かな対策を積極的に展開していく。

問 学童クラブにおいて、長期休暇の際、普段の給食同様に昼食提供があれば、児童の成長にもいい影響を与えられると考える。区で今年度実施した昼食提供のモデル事業での課題等をもとに、他自治体の事例も検討し、早期に長期休暇時の昼食提供を検討すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 現在、今年度の夏期休業期間に実施した昼食提供のモデル事業で明らかになった課題を解決し、来年度の夏期休業から全学童クラブにおいて、お弁当給食を実施する方向で準備を進めている。区として、様々な面で保護者の負担を軽減し、子育て支援策の一層の充実に取り組んでいく。

その他の質問項目

- 既存商店街の存続に向けた住宅化の抑制
- 公共施設マネジメント全般にわたる区の考え方
- ゼロカーボンシティを目指す区の取り組み
- 介護離職者問題と区の支援策について
- 電子書籍図書館の導入について



不登校児童・生徒支援策と
有事の際の都立尾久の原公園
の有効活用等について

竹内 明浩

(ゆいの会(都民ファースト・
国民民主・あたらしい党・無所属))



不登校児童・生徒支援策等について

問 区は不登校の実態を把握し、都が実施する「フリースクール等に通う不登校児童・生徒支援調査研究事業」の周知を徹底するよう要望する。

答 本事業については、各学校を通してご家庭にお知らせしている。今後はさらなる周知に努め、区内のフリースクール等へも情報提供していく。

問 教員の負担軽減のためにも、校内別室指導の実施にあたっては、学級復帰の手助けをする専任の支援員の配置を要望するが、区の見解を問う。

答 校内別室指導のさらなる充実については、支援員の配置を含め、小中学校の校長会と連携を図りながら検討を進めていく。

有事の際の都立尾久の原公園の有効活用等

問 尾久の原公園の災害時の具体的な活用方法について、平時から都と区が連携しながら取り組みを進めるべきと考えるが、区の見解を問う。

答 都立公園については、都と協議の上、震災時利用計画を策定している。災害時に、より効果的に活用できるよう、都と協議を進めていく。

問 尾久の原公園の活用方法の一つとして、防災パーゴラ(※)を使用し、ペットと飼い主のために活用することを提案するが、区の見解を問う。

答 ペット用品の備蓄や人的資源の確保等の課題があるため、荒川区地域防災計画の見直しにおいて、ペット避難の在り方について検討していく。



◀防災パーゴラ

その他の質問項目

- 自転車ヘルメット着用等のさらなる普及啓発

※防災パーゴラ：屋根が格子状で、ベンチ等が整備されている休憩場所。災害時には屋根にテントを張り、避難施設として使用できる。



私道の街路灯のLED化と
空き家の利活用の促進に
ついて

保坂 正仁
(公明党)



私道の街路灯のLED化について

問 区内の私道街路灯のうち72.8パーセントが未だ蛍光灯ランプであるが、なぜ私道のLED化が進まないのか、実態調査をしてはどうか。その調査をもとに年次計画を立て、私道街路灯のLED化を促進するよう要望するが、区の見解を問う。

答 私道街路灯の実態調査を実施するとともに、町会等のLED化に対する理解が広がるよう十分意識啓発を行い、準備の整った町会から順次LED化が実施できるよう、積極的に取り組んでいく。

空き家の利活用の促進について

問 令和6年4月から不動産の相続登記が義務化されることを、不動産所有者に早急に周知を徹底すべきと考える。また、相続登記の相談窓口の設置について、区の見解を問う。

答 区では、戸籍窓口等での案内や区報等で周知を行ってきた。今後も、関係機関と連携を図りながら、区民が相談しやすい環境を整え、円滑に相続登記ができるよう啓発・支援していく。

問 空き家を活用して事業を行う人への「荒川区空き家利活用事業補助金」について、補助対象となる

事業や事業継続期間の制限を緩和するなど、関係部署と連携し、空き家利活用のための新たなルールを作るべきと考えるが、区の見解を問う。

答 当該補助制度は、国や都の制度に基づいて構築したことから、条件が厳しくなっている。対象事業の追加等、制度の見直しに向けて具体的な検討に着手するとともに、民間事業者とも連携し、空き家の利活用をさらに促進していく。



相続登記の義務化
(東京法務局)

その他の質問項目

- ICT 教育の支援について



住み続けられるまちづくりと長期休業中の学童クラブ等への昼食提供について
相馬 ゆうこ
(共産党)



身近な困りごとに応え、住み続けられるまちづくりを

問 買い物弱者への支援策として、区内の都営住宅や要望のある場所での移動販売に支援を行うこと。

答 都営住宅では都が主体となり実施している。その他については民間事業者の動向を注視していく。

問 汐入地域の店舗併設再開発住宅について、店舗のみの返還を認めるよう、再開発の主体である都と協議を進め、借主の負担軽減等のためにも一日も早い改善を求めるが、区の見解を問う。

答 都によれば、店舗のみの返還は行えず、法人等への転貸も認めていない状況である。これまで都との協議を行ってきたが、現状の課題解決に向け、今後も都に粘り強く要望していく。

問 南千住駅の東西を繋ぐ都市計画道路補助第331号線の開通にあたり、区民の要望を集約し

た上で、コミュニティバスのルート見直しを要望する。

答 令和9年度の開通に向け、ルート変更等について京成バスと協議してきたが、様々な状況の変化もあり、さらに協議していく方針である。



補助第331号線
イメージパース

長期休業中の学童クラブ等の昼食提供について

問 子どもたちの食を支える取り組みは貧困対策として重要であり、学校の長期休業中に学童クラブの子どもへ昼食を提供するとともに、学童利用外の希望する子どもへも提供することを要望する。

答 今年度、2か所でモデル事業を実施し、来年度の夏期休業期間から全ての学童クラブで昼食提供ができるよう検討を進めているが、事業の趣旨から学童利用外の児童への対応は考えていない。

その他の質問項目

- 耐震化、空き家対策をさらに促進するために



生成AIの教育における活用とDX化の進捗について

大月 健弘
(ゆいの会(都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属))



生成AI(ChatGPT等)の教育での活用について

問 生成AI(※)は、進化中の技術であり、機能の熟成及び社会への浸透にはもう少し時間がかかるが、活用への流れは止まらないのではないかと考える。小中学校については、既に文部科学省より学校利用の指針が出ているが、教員自身が生成AIを理解して指導できるのか疑問である。区では教員に対する研修等は検討しているのか。また、学校での活用計画について、見解を問う。

答 区では、年間2回実施している「ICT教育推進

教師研修」において、今年度より生成 AI に関する内容を追加し、大学の講師による研修を実施している。生成 AI の有用性や課題を教員自身が認識した上で、学校現場が安全かつ効果的に活用できるよう取り組んでいく。また、生成 AI の活用の方向性については、文科省や都のガイドライン等の情報を参考に、今後の方向性を検討していく。

※生成 AI：学習したデータを基に、画像や文章等のコンテンツを新たに生成できる人工知能。

荒川区の DX 化の進捗について

問 区における DX 化に関する再構築計画について、今後 5 年程度のスケジュールを問う。また、新しい機器を使いこなすことが難しく、DX 化に対応できない、いわゆるデジタルデバイドの方々をどう支援し、円滑に業務を進めるのか、見解を問う。



◀オンライン申請画面

答 令和 8 年度までを期間とする「荒川区デジタル化基本方針」を定め、システム標準化やオンライン申請の拡充等に取り組む。一方、スマートフォン教室等を充実し、機器の使用方法やリスクを周知するなど、デジタルに不慣れな方でも円滑に情報の取得や手続きが行えるよう対策を進めていく。

音声配信のご案内

本会議の様子及び委員会の音声を Youtube で配信しています。会議当日に配信を行うほか、荒川区議会 Youtube チャンネルから過去の映像及び音声を視聴することができます。

▶区議会 Youtube チャンネル



子ども議会 が開催

令和 5 年 8 月 29 日、荒川区議会議場で「子ども議会」が開催されました。

「子ども議会」は、「荒川区子どもの権利条例」の制定をきっかけとして、子どもの意見を区の施策に反映させ、子どもの権利を保障し、子どもたちが安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的としたものであり、区立中学校 10 校から各 2 名の生徒が「子ども議員」として選出されました。

「子ども議員」からは交通安全や教育、産業、情報等の観点から質問が上がり、区の所管課長が各質問に対して答弁しました。質問の中には区への具体的な提案もあり、「子ども議員」たちは質疑応答を通して区政への理解を深め、区にとっては子どもの生の声を聞く貴重な機会となりました。



▲議場の様子



▲子ども議員

委員会活動の報告

議会運営委員会

茂木 弘 委員長

8月3日～4日

◆行政視察

- ①広島県広島市(3日)
政策立案検討会議について
- ②広島県呉市(4日)
議会だよりについて

8月30日

◆9月会議について

- ①9月会議・初日の開会日について
- ②提出予定案件について
- ③9月会議の会議期間について
- ④一般質問等の締切日について
- ⑤提出議案説明のための委員会開会について
- ⑥9月会議の会議期間に係る日程について
- ⑦決算に関する特別委員会の設置について

◆行政視察の集約について

9月11日

◆9月会議について

- ①追加議案の提出について
- ②陳情書の受理について
- ③9月会議の会議期間について
- ④議事日程について
- ⑤一般質問について
- ⑥本会議の議事の取り扱い及び順序について

10月10日

◆9月会議の最終日について

- ①議案第26号及び第27号に係る附帯決議について
- ②意見書について
- ③9月会議の終了について

◆今後の議会日程について



◀広島県呉市にて
視察の様子

常任委員会

総務企画委員会

宮本 舜馬 委員長

7月19日

◆陳情審査

◆所管事務事業説明

- ①本庁舎の課題と建て替えに向けた検討状況について

8月31日

◆9月会議提出予定案件について

- ①職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例等の一部改正について
- ②令和4年度荒川区一般会計歳入歳出決算について
- ③令和5年度荒川区一般会計補正予算(第3回)について 等

◆所管事務事業説明

- ①指定管理施設に係る令和4年度の実績評価結果について

9月19日

◆付託された議案について

- ①議案第15号
職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例
- ②議案第23号
令和5年度荒川区一般会計補正予算(第3回) 等

◆所管事務事業説明

- ①荒川区デジタル化基本方針の策定について
- ②令和5年度行政評価(令和4年度決算版)の結果について
- ③「令和4年度荒川区包括年次財務報告書」について

◆行政視察について



◀現在の
荒川区役所本庁舎

文教・子育て支援委員会

鎌田 理光 委員長

7月20日

◆所管事務事業説明

- ①令和6年度区立小中学校入学生を対象とする学校選択制度の実施について

8月1日～2日

◆区外所管施設調査及び表敬訪問

- ①下田臨海学園(1日)
施設及び授業(遊泳)等視察
- ②下田市(2日)【表敬訪問】
区外所管施設等に係る意見交換

9月1日

◆9月会議提出予定案件について

- ①令和5年度荒川区一般会計補正予算(第3回)について【文教・子育て支援委員会関係】
- ②措置費共同経理課の共同設置について 等

◆所管事務事業説明

- ①令和6年度から使用する小学校教科用図書の採択の結果について
- ②令和4年度文化3施設の実績評価結果について
- ③荒川遊園スポーツハウスのリニューアルについて
- ④南千住図書館・荒川ふるさと文化館の改修の進め方について
- ⑤保育園3園の指定管理者候補者の選定結果について
- ⑥令和4年度保育施設の実績評価結果について 等

9月20日

◆付託された議案について

- ①議案第26号
荒川区立上尾久保育園の指定管理者の指定について 等



◀下田臨海学園にて
視察の様子

福祉・区民生活委員会

松田 智子 委員長

7月19日

◆区内視察

- ①ふれあい館の災害時機能や各種事業の実施状況について(ひぐらしふれあい館等)

7月25～26日

◆区外所管施設調査及び行政視察

- ①ホテルグリーンパール那須(25日)
施設運営状況等について
- ②宇都宮市(26日)
宇都宮市健康ポイント事業の取り組みについて

8月31日

◆9月会議提出予定案件について

- ①令和5年度荒川区一般会計補正予算(第3回)について【福祉・区民生活委員会関係】
- ②荒川区手数料条例の一部改正について 等

◆所管事務事業説明

- ①令和4年度ふれあい館(15館)の実績評価結果について
- ②荒川区立東日暮里在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者候補者の選定結果について
- ③障害者福祉施設3施設(障害者福祉会館・尾久生活実習所・支援センターアゼリア)の指定管理者候補者の選定結果について 等

◆行政視察及び区外所管施設調査の集約について

9月19日

◆付託された議案について

- ①議案第29号
石浜ふれあい館の指定管理者の指定について
- ②議案第38号
訴えの提起について 等

◆新たに付託された陳情について



◀宇都宮市にて
視察の様子

建設環境委員会

菅谷 元昭 委員長

7月20日

◆区内視察

- ①天王公園及び南千住浄水場跡地公園整備事業について
- ②補助第331号線整備事業について

9月1日

◆所管事務事業説明

- ①安心居住推進事業の実施について
- ②空き家実態調査の結果及び今後の対応等について
- ③荒川区マンション管理適正化推進計画(素案)に関するパブリック・コメントの実施結果及び荒川区マンション管理適正化推進計画の策定について
- ④令和4年度区営住宅等の実績評価結果について
- ⑤令和4年度自転車駐車場施設の実績評価結果について

9月20日

◆所管事務事業説明

- ①廃プラスチックの資源化に向けたモデル回収地域の拡大について

◆新たに付託された陳情について



◀建設環境委員会区内視察
(南千住浄水場跡地)



◀観光・文化推進調査
特別委員会視察(岡山市)

特別委員会

震災・災害対策調査特別委員会

北城 貞治 委員長

7月13日

◆調査研究事項

- ①荒川区地域防災計画修正方針(案)の更新について

9月11日

◆調査研究事項

- ①地域防災計画修正方針案(風水害編)及び震災・災害対策調査特別委員会への今後の報告予定案件について

観光・文化推進調査特別委員会

山口 幸一郎 委員長

7月10日~11日

◆行政視察

- ①岡山県高梁市(10日)
高梁市立図書館を活用した観光振興について
- ②岡山県岡山市(11日)
岡山芸術創造劇場ハレノワを活用した文化振興について

財政援助団体調査特別委員会

並木 一元 委員長

7月10日

◆調査研究事項

- ①荒川区シルバー人材センターについて

若者支援・健全育成調査特別委員会

清水 啓史 委員長

7月12日

◆区内視察

- ①なにかし堂 ②企業組合あうん
- ③一般社団法人子ども村ホッとステーションについて

7月28日

◆区外視察

- ①文京区青少年プラザについて
- ②大田区若者サポートセンターについて

8月30日

◆調査研究事項

- ①若者相談・支援の今後の対応について

決算に関する特別委員会で 令和4年度決算を認定

令和4年度一般会計歳入歳出決算ほか3特別会計歳入歳出決算については、監査委員を除く全議員で構成される決算に関する特別委員会（委員長＝並木一元、副委員長＝増田峰子）を設置しました。9月22日から審査を行い、いずれも特別委員会において認定することに決定しました。



町田議長 並木委員長 増田副委員長
(左) (中央) (右)

▲決算に関する特別委員会の進行の様子

委員会での審査経過

9月22日

・一般会計歳入歳出決算

○監査委員意見（明戸真弓美監査委員）等、書面配付

○総括質疑（7会派）

※主な質問項目は別掲

○歳出審査（議会費・総務費）

9月25日

○歳出審査（総務費）

9月27日

○歳出審査（総務費・民生費）

9月28日

○歳出審査（民生費）

9月29日

○歳出審査（民生費・衛生費・環境清掃費・産業経済費）

10月3日

○歳出審査（産業経済費・土木費）

10月4日

○歳出審査（土木費・教育費・公債費・諸支出金・予備費）

○歳入審査（一括審査）

○採決 採決の結果

認定することに決定

・国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

・介護保険事業特別会計歳入歳出決算

○審査

○採決 採決の結果

認定することに決定

監査委員による決算審査の報告

令和4年度決算審査は、関係諸帳簿及び証拠書類との照合を行うとともに、関係職員から説明を聴取するなどの方法により実施しました。

その結果、決算計数に誤りはなく、各会計の決算内容、予算の執行状況等も適正と認められ、その旨の審査意見を区長あてに提出しました。

また、財政健全化法による「令和4年度決算に基づく健全化判断比率」についても、適正である旨の意見を区長あてに提出しました。

令和4年度予算は、新型コロナウイルス感染拡大による影響に加え、国際情勢の先行き不透明感が高まっていることから、さらに景気が下振れするリスクも十二分に想定しておかなければならないという認識の下、執行されました。

こうした中、区は、基金残高を減らすことなく、

直面する課題に柔軟かつ的確に対応するとともに、健全で持続可能な財政基盤を堅持していくための取り組みに努められたものと考えられます。

その結果、実質収支は黒字、基金残高は、前年度を超える額となるなど、極めて健全な財政運営に努めていると評価できます。

しかしながら新型コロナウイルス感染症は完全に終息したわけではなく、長期化する物価高騰などにより、今後財政状況が厳しい場面に陥る可能性も否定できません。

こうした点を踏まえ、徹底的な行政改革の推進等により歳出の抑制を図るとともに、特別区民税の収納率のさらなる向上に努めるなど、歳入、歳出の両面から健全な財政運営に向けた取り組みを推進すべきと述べ、報告とさせていただきます。

令和4年度 決算の概要

	予算現額	決算額		歳入歳出 差引残高	
		歳入(収入率)	歳出(執行率)		
一般会計	1,217億1,783万9,000円	1,147億1,772万7,534円 (94.2%)	1,095億4,654万5,524円 (90.0%)	51億7,118万2,010円	
特別会計	国民健康保険 事業	234億2,475万4,000円	229億1,974万7,934円 (97.8%)	227億124万7,234円 (96.9%)	2億1,850万700円
	後期高齢者 医療	52億9,200万円	52億4,948万369円 (99.2%)	51億7,606万3,327円 (97.8%)	7,341万7,042円
	介護保険 事業	193億2,981万6,000円	186億2,772万8,416円 (96.4%)	178億7,235万4,515円 (92.5%)	7億5,537万3,901円

主な総括質疑

※ 二次元コードから荒川区議会HPの動画に移行します

自民党・次世代
鎌田 理光 委員



- 指定管理者制度や業務委託の在り方について
- 避難所の燃料備蓄と発災時の燃料供給体制について
- タブレットPCについて

公明党
森本 達夫 委員



- 区民を守る取り組みについて
- フェーズフリーの考え方を取り入れた施設の整備について
- 高齢者見守りアプリやツールの導入について
- 認証保育所における安全見守りのためのシバー人材センター派遣について
- 交通安全対策について

ゆいの会(都民ファースト・
国民民主・あたらしい党・無所属)
清水 啓史 委員



- 学力向上について
- 公園の利用について
- マンション管理・防災等の問題について

共産党
北村 綾子 委員



- 物価高騰対策について
- インボイスについて

立憲民主党
鬼頭 あきゆき 委員



- ふるさと納税について
- クラウドファンディングについて

日本保守党
小坂 英二 委員



- 偏向した教員人権研修の是正について

維新・子育ての会
山田 晴美 委員



- 子育ての手助けについて



会派名称の変更

令和5年9月13日付で変更がありました。
「日本保守党」小坂英二議員

令和4年度決算をこう評価する

10月12日の本会議において、令和4年度一般会計決算について各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

一つでも多くの事項について
具現化されることを要望し、
本決算の認定に賛成
自民党・次世代



令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況下であり、物価高騰が加速する中、区民生活や区内中小企業を支えるために、的確で迅速な対策が求められた年度であった。こうした中、我が党は必要な対策の実施について重ねて要望し、区では新型コロナ対策や物価高騰対策について、迅速かつ的確に対応していた。

新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置付けが5類へ移行し、区民生活や経済活動の正常化が進む中で、区民一人ひとりが安心して暮らし、将来に希望の持てる取り組みについて、区政の各分野で着実に推進していく必要があるものと認識している。この度の決算審査では、そのような視点から、区政全般にわたって区民サービスの着実な前進が図られていることを確認した。

荒川区の財政状況は、引き続き健全な財政運営がなされており、高く評価する。しかし、小中学校や本庁舎等の老朽化対応が本格化した際に多額の財政支出が見込まれることを踏まえると、ファシリティマネジメントの観点から区施設全体として最適化を図っていくことが必須である。加えて、事務事業の徹底した見直しや自主財源の確保、特定目的基金への積み立て等についても、確実に取り組む必要があり、中長期的な視点を持った計画的・安定的な財政運営に努めるよう願います。

決算特別委員会では、次の点について質疑を行った。まず、**防災の分野では**、災害医療の体制確保の観点から、緊急医療救護所の開設時における医師会等との連絡状況や都立大荒川キャンパスの活用について確認・提案を行うとともに、地域防災計画における避難所の在り方の再構築や備蓄等の様々な対応の強化について提言を行った。全

ての区民の生命を守るため、防災・減災対策の更なる強化・充実をお願いする。

福祉・健康の分野では、区立特別養護老人ホームの大規模改修や難病患者に対する移動支援の充実に向けての進捗状況、令和あらかわクリニックの建て替えに向けた検討状況について確認した。

子育て・教育の分野では、区立幼稚園の方向性と私立幼稚園に対する支援の在り方や、学校建て替えに向けての早期の計画策定、英語教育の実施、若者の居場所づくりについて、具体的な提案を行った。区の将来を担う子どもや若者たちへ向けた施策の充実をお願いする。

環境の分野では、電力の一括調達や廃プラスチック回収、子ども達の環境学習の現状等について確認及び提案を行った。区民全体を巻き込んだ環境・温暖化対策の周知と充実をお願いする。

産業・観光の分野では、企業融資の現状について確認し、日暮里の観光資源を活かした賑わいの創出について要望した。アフターコロナで訪日観光客が増えている今をチャンスと捉え、区内の魅力の創出と発信をお願いする。



◀ 日暮里繊維街

街づくりの分野では、補助第331号線の進捗状況を確認したほか、宮前公園や旧南千住浄水場跡地の整備の方向性、空き家の利活用について、質問及び提案を行った。安全で快適な街を目指して、より一層の努力を重ねるようお願いする。

これらの趣旨を踏まえ、今後の区政運営に的確に反映するとともに、一つでも多くの事項について具現化されることを要望し、**本決算の認定に賛成の討論とする。**

区民サービスの一層の向上に
取り組まれることを要望し、
本決算の認定に賛成

公明党



令和4年度予算は、「区民の健康と暮らしを支えていくことに全力を尽くし、輝く笑顔を再び取り戻していく」との区長の強い決意を込めて編成され、執行されてきたものと理解している。

長期化するコロナ禍や物価高騰等により区民が不安な日々を過ごす中、我が党はその声を捉え、4度にわたり緊急要望書を区長に提出した。区も厳しい状況を踏まえ、6度にわたる補正予算を編成し、子育て世代に対する給付金や区内事業者への緊急対策等、迅速かつ機動的に対策を講じていた。また、我が党が要望していた高校生の医療費無償化や医療的ケア児への支援等、区民の命と健康を守る取り組みを進めたと認識している。

令和4年度決算を総括すると、普通会計における経常収支比率は前年度より改善している。財政健全化法に基づく健全化判断比率は良好な水準を維持しており、**極めて健全な財政運営がなされたものと認識している**。一方で、区の主要な歳入である財政調整交付金等は景気後退の際にはただちに厳しい財政状況に陥る可能性があり、歳出面においては、物価高騰への対応等、多額の財政負担を伴う行政需要が見込まれている。今後の区政運営にあたっては、徹底的な行政改革を推進するとともに、計画的な財政運営によって、さらなる財政基盤の強化を進めていく必要がある。

本決算の審査においては、**持続可能な財政運営**、**一人の犠牲者も出さない防災対策と安心安全なまちづくり**、**活力のあるコミュニティの形成と誰も置き去りにしない社会**をつくる、**未来社会の守護者たる子どもたちへの教育と福祉**の4つの視点に沿って質問及び要望を行った。



▲知って備える防災サイト まなBOSAI
(区ホームページ内)

この他にも、我が党からの意見・要望については、基本的に前向きな答弁がなされたと理解しており、令和4年度決算は、区民の健康と暮らしを支えるため、コロナ対策や物価高騰対策を着実に実施するとともに、地域の活性化に向けた事業についても執行されたものと認識している。

今後編成される令和6年度予算についても、区長に提出した要望書の内容を踏まえ、誰もが幸せを実感できるまち「あらかわ」の実現のため、区民サービスの一層の向上に取り組まれることを要望し、**本決算の認定に賛成の討論とする**。

より効果的に区民サービスが提供
されることを期待し、賛成

ゆいの会 (都民ファースト・
国民民主・あたらしい党・無所属)



本決算は、今回発覚した「労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団」及び「社会福祉法人上智社会事業団」による学童クラブ等での人員配置虚偽報告、委託料不正受給がなされていた年度の決算でもある。保育園の指定管理に関する議案については、何よりも子どもたち、保護者の方に混乱を生じさせてはいけないという一点のなかで、会派として苦渋の判断をした。可決された附帯決議については、区も同じ認識であると確認しており、その対応措置をきちんと講じることが前提の上で、認定について賛成することをまず申し上げる。

この度の決算審査において、会派所属の各議員から、各款にわたって質疑を行った。区民サービスを担う人材の確保及び育成、職員が働きやすい職場づくり、生成AIの活用等DXの推進、窓口業務の効率化や正確な待ち時間の案内、幅広い子育て支援、引きこもりや不登校児童への支援の強化、マンションの適正管理に向けたコミュニティづくりや水害時の防災対策、永久水利の運用や災害協定の見直し、ペット同行避難に関する環境の整備など、様々確認した。各関係所管においては、効果的な予算の執行及び施策の実施について、尽

力するよう強く要望する。



◀永久水利施設（訓練）

令和4年度は「区民の健康と暮らしを支え、輝く笑顔を取り戻す予算」と位置付けられ、限られた財源を重点的かつ効果的に配分すること、行政評価の結果を踏まえ、選択と集中の観点から施策の徹底的な見直しを図ること、中長期的な視点に立った財政運営を行うことの3つに重点が置かれ、編成されたものと認識している。

行政評価の運用にあたっては、改善の余地が大いにあると感じるものの、基本計画の改定作業を進める中で、見直しを図っていくことを確認した。今後確実に、**行政評価の改善が図られ、より効果的に区民サービスが提供されることを期待し、本決算の認定に賛成の討論とする。**

毎年の黒字積み上げを止め、住民福祉の向上に振り向けることを求め、
反対

共 産 党



本決算の認定に反対する。第1に、コロナ禍や物価高騰等が続く中、区民の暮らしの大変さに寄り添った財政運営が極めて不十分であった。決算状況は51億円の黒字計上、財政調整基金も標準財政規模を超えているが、住民福祉の向上や負担軽減にお金が回っていない。我が党が6月会議において補正予算の修正案として提案した、特別支援学校の給食費無償化等については、区独自財源で実施できるものであり、速やかに実施すべきである。区民の暮らしに寄り添い、区独自の施策を展開することこそが地方自治体の役割であり、自治体の本旨に立ち戻った財政運営を強く求める。



◀学校給食イメージ

第2に、コロナ禍を受けても従来の保育園や学童クラブ等の指定管理・民間委託を推進して、区の直営部門の縮小・廃止路線を変えようとしなないことである。区は「財政効率化」を目指し、福祉・保育等の施設運営の民間委託・指定管理を推進してきたが、その結果、低賃金と劣悪な労働環境が作り出され、公共サービスの質の低下にも影響している。これ以上の民間化路線を止めて、保育、福祉、介護の分野で、区が直接現場をもってあたる部門を確保すること、各分野の専門性や経験を積んだ職員を確保することが重要になっている。

第3に、住宅困窮者を置き去りにして、西日暮里駅前等大規模再開発に突き進む区の街づくりの姿勢は容認できない。西日暮里再開発は、資材や人件費の高騰で、事業費が増大し税金投入も増え、特に商業床の先行きは極めて不透明である。補助金が出て、区の負担は無いからと貴重な区有地を種地にして実質的な「官製市街地再開発」を進めることは、将来に禍根を残す結果になりかねない。

また、令和4年度から町屋さくらが廃止されたが、都市計画マスタープラン、バリアフリー構想に基づく地域交通としての町屋さくらの廃止は容認できない。50年・100年先を考えた区の街づくりは、人権の立場で、環境にやさしく、持続可能で、**一人の犠牲者も出さない防災街づくりこそ求められていると申し上げ、反対の討論とする。**

附帯決議について

議案第26・27号については、委員会における議案審査後に、指定管理候補者による学童クラブ等の運営業務における虚偽報告が判明したため、子どもや保護者に与える影響に最大限配慮しつつ、厳正な対処・再発防止等を議会として区に強く求める附帯決議が可決されました。

議案の審議結果



令和5年度定例会・9月会議

○ 賛成 × 反対 太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	自民党・次世代	公明党	ゆいの会 <small>(都民ファースト・国民民主党・無所属)</small>	共産党	立憲民主党	日本保守党	維新・子育ての会	結果	
	11	6	6	5	2	1	1		
議員提出議案(3件)・区長提出議案(28件)									
議員提出第5号	国の負担で学校給食の無償化を求める意見書提出について								可決
第15号	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例								可決
第16号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例								可決
第17号	荒川区学童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例								可決
第18号	荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例								可決
第19号	荒川区手数料条例の一部を改正する条例								可決
第20号	荒川区興行場法施行条例の一部を改正する条例								可決
第21号	荒川区旅館業法施行条例の一部を改正する条例								可決
第22号	荒川区プール条例の一部を改正する条例								可決
第23号	令和5年度荒川区一般会計補正予算(第3回)								可決
第24号	令和5年度荒川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第1回)								可決
第25号	令和5年度荒川区介護保険事業特別会計補正予算(第1回)								可決
第26号	荒川区立上尾久保育園の指定管理者の指定について								可決
議員提出第6号	「議案第26号 荒川区立上尾久保育園の指定管理者の指定について」に対する附帯決議について								可決
第27号	荒川区立南千住さくら保育園の指定管理者の指定について								可決
議員提出第7号	「議案第27号 荒川区立南千住さくら保育園の指定管理者の指定について」に対する附帯決議について								可決
第28号	荒川区立汐入とちのき保育園の指定管理者の指定について								可決
第29号	石浜ふれあい館の指定管理者の指定について								可決
第30号	荒川区立東日暮里在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の指定について								可決
第31号	荒川区立荒川授産場の指定管理者の指定について								可決
第32号	荒川区立尾久生活実習所の指定管理者の指定について								可決
第33号	荒川区立尾久生活実習所分場の指定管理者の指定について								可決
第34号	荒川区立精神障害者地域生活支援センターの指定管理者の指定について								可決
第35号	荒川区立障害者福祉会館の指定管理者の指定について								可決
第36号	措置費共同経理課の共同設置について								可決
第37号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて (榎真理子氏)								適当との意見
第38号	訴えの提起について								可決
認定第1号	令和4年度荒川区一般会計歳入歳出決算								認定
認定第2号	令和4年度荒川区国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算								認定
認定第3号	令和4年度荒川区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算								認定
認定第4号	令和4年度荒川区介護保険事業特別会計歳入歳出決算								認定

全国の議会が視察に訪れています



7月8日～10月11日の間、11団体の行政視察を受け入れました。

日程	視察受入議会名	主な視察項目
7月 10日	 広島県福山市議会	荒川区自転車総合活用推進計画について
7月 14日	 大阪府大阪市会	公立中学校の防災部の創設について
7月 26日	 大阪府富田林市議会	「部活動」として取り組む防災教育について
7月 31日	 神奈川県大和市議会	①荒川区民総幸福度調査と総合計画について ②幸せリーグなど他自治体との連携について
	 練馬区議会	荒川区民総幸福度について
8月 2日	 徳島県議会	「荒川区空家利活用事業」について
8月 17日	 京都府京田辺市議会	ゆいの森あらかわについて
8月 23日	 佐賀県佐賀市議会	公立中学校への防災部の創設について
8月 24日	 北区議会ほか	①ゆいの森について ②区の防災対策について
8月 25日	 台東区議会	荒川区子ども家庭総合センターについて
9月 1日	 足立区議会	荒川区の「じゃぶじゃぶ池」について



◀徳島県議会様



◀京田辺市議会様



◀佐賀市議会様

福島県福島市長が区議会を表敬訪問

令和5年7月27日、木幡浩福島市長とミススピーチキャンペーンクルーが、荒川区議会を訪れました。

福島市と荒川区は、荒川区が戦時中、福島市に学童疎開をしていたことがきっかけで交流が始まり、これまで災害時における相互応援に関する協定や友好都市協定を締結しています。令和4年5月30日には、「荒川区と福島市との森林整備の実施に関する協定」を締結するなど様々な連携を深めています。



*11月会議は、11月21日(火)から12月7日(木)までの期間で開催します。